

全国高校生建築提案コンテスト2025

青春を建築に、刻む。

秋田県立大学では^{*}高校生の皆さんを対象に、
未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、
2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。

青春を生きる今のあなたにしかない、
感覚や情熱を
建築に表現してみませんか。

※高等専門学校の場合は在籍3年以下の学生

テーマ

MADE in JAPAN — 日本の資源や文化を活かした建築 —

賞と副賞

最優秀賞 (1点) - 賞状 / 図書カード3万円 / 記念品

優秀賞 (2点) - 賞状 / 図書カード2万円 / 記念品

佳作 (5点程度) - 賞状 / 図書カード5千円 / 記念品

奨励賞 (数点) - 賞状

※グループ応募の場合、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

応募締切

10月26日 日 消印有効

(作品受付は10月1日より)

Akita Prefectural University
秋田県立大学

秋田県立大学 本荘キャンパス 事務局 総務・企画チーム
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

主催 公立大学法人 秋田県立大学
後援 秋田県、秋田県教育委員会、一般社団法人 日本建築学会東北支部、
公益社団法人 日本建築家協会東北支部、一般社団法人 秋田県建築士事務所協会

MADE in JAPAN — 日本の資源や文化を活かした建築 —

19回目となる全国高校生建築提案コンテスト。今回は『MADE in JAPAN —日本の資源や文化を活かした建築—』をテーマに、建築的なアイデアを募集します。

日本は先進国の中でも自給率が低いといわれています。昨今は外国産の材料で作られた製品が身近にあふれるようになりました。たとえば、文房具によく用いられるプラスチックは石油製品ですが、石油の約99%は輸入されています。また、戸建住宅の多くは木造ですが、建築用木材自給率は50%未満を推移しています。このまま外国に頼ってばかりいると、国内の産物が売れずに経済の衰退につながったり、国外の紛争、災害などにより供給が不安定になるなど様々なリスクがあるので、国内の資源循環システムの自律化や国産のものやサービスによって国際競争力を高めることが求められています。

一方、かつての日本では住まい周辺の資源を上手く使いながら暮らしていました。古き良き田舎の景観要素である屋敷林は、雨風雪をしのぐだけでなく、その剪定枝は燃料(薪)でもありました。豊臣秀吉の伏見城に使われた天然秋田スギは、流路(水)の力で運ばれ大変な労力を要しましたが、行き交う業者が増え港はにぎわいをみせたそうです。中尊寺金色堂というまばゆい建築は、みちのく(陸奥)産の金が使われたといわれていますが、国内に仏教文化を花開かせただけでなく、国外では「黄金の国」として伝承されたとされ、またその金は北方貿易や日宋貿易で利益を生んでいたそうです。千利休の待庵は、極限の空間ながら“心と心の間(ま)”づくりでもあり、その相手を想う精神は東京オリンピック2020の「おもてなし」につながっていると見ることもできるでしょう。

このほかにも、石や竹などの資源、量や和紙など生産物や農作物、四季に応じた可変的な住まい方や地域共助といった文化や精神など、MADE in JAPAN はたくさんあると思います。伝統的なものだけでなく現代の、あるいは未来のMADE in JAPAN もあるでしょう。そのような日本の資源や文化の織りなす空間を提案してください。未来を創造するような“これまでにない新しい発想”をお待ちしております。

提案参考例

- 史上初! ○○地域の○○細工を使った建築物
 - 高校生起業家によるお寺のIT化とリノベーション
 - ▶ 米国で稲作...国際共助の仕組みづくりとおにぎり屋
 - 陶器○○焼の力学実験による壁材開発と空間づくりの試み
- ※提案例に沿った内容を高く評価するわけではありません。

建築コンペ初心者の方を対象とした資料や過去の受賞作品を本コンテスト開催案内ページにて4月頃に公開予定です。応募したいのでプレゼンボードや論文の構成の仕方をよく知りたい、応募予定の生徒の方や指導方法を確認したい先生などは是非ご覧ください。

動画でわかりやすく解説!



応募規定

- コンテストのテーマ・趣旨を踏まえた提案をしてください。
- 作品には必ずオリジナルの作品タイトルをつけてください。
- 提出形式は、A プレゼンボードフォーマット、B 論文フォーマットのどちらかを選んでください。なお、A・B は部門ではありません。同等に審査します。

A プレゼンボードフォーマットの場合 (設計作品、調査や活動のポスター表現、など)

- A2 厚手紙 1枚
[A2のケント紙など厚手紙1枚にまとめる、もしくはプロッター等で厚手紙に出力しA2 1枚にする。]
(複数枚は認めません。複数枚を組み合わせたい場合はケント紙に貼り付けるなどとして、必ずA2 1枚で提出してください。また、模型や映像なども受け付けません。)
- 作品タイトルは必ず作品中に記載してください。
- 図面、写真、文章等を自由にレイアウトして作品をまとめてください。
(図面や写真の点数、文章の文字数などに制限はありません。ただし、見易さも評価されますので、小さすぎないように注意してください。)
- 手書き、CAD、着色などの表現も自由です。

B 論文フォーマットの場合 (調査や活動、実験の成果を交えた提案など)

- A4 8枚以内
- 作品タイトルは、最初の行に記載してください。
- 本文は、作品タイトルから1行空けて書き始めてください。
- 章、節を設けて構成してください。
- 図、表には番号を付けて、文章中に表し、適宜レイアウトしてください。
- 文字数は、1枚につき、図、表を含め1,200字程度としてください。
- 参考文献は、最後にまとめて記載してください。
- 各ページにページ番号をつけ、ページ左上をホッチキスでとめてください。
- 文書作成ソフトなどの他、手書きでもかまいません。

注意事項

- 提出作品には、応募者の所属学校名や氏名等がわかる内容を一切記入しないでください。
- 著作権の侵害、個人情報の無断掲載等は、絶対にしないでください。
- 出版物及びインターネット等に掲載された情報を引用する場合は、必ず引用元を示してください。
- この応募規定にない事項は、すべて応募者の判断によるものとします。質疑応答は行いません。
- 応募作品は返却いたしませんので、ご注意ください。
必要であれば事前にコピーをとるなどしてから提出してください。

応募方法

STEP1 作品応募フォームから、作品ごとに応募情報を入力

STEP2 入力結果がメールにて通知

STEP3 プリントアウトして
応募作品と一緒に送付し、提出
グループなど複数名で1点の応募も可能です。

審査基準

現代の人々の要望、あるいは社会の問題点などを踏まえつつも、従来の概念や常識にとらわれない、自由な発想の建築的アイデアを重視します。実現の可能性は低くても、身近な問題意識を踏まえた若者らしい発想にもとづいた提案が望ましいと言えます。表現方法についても、提案に適した表現方法がとられていることが望ましいものとします。審査は、建築環境システム学科教員により選考委員会を組織して行います。

1次審査を通過した作品に対しては、選考委員会より個別作品評をお送りします。

結果発表

12月19日(金) 大学ホームページにて発表
(入賞作品や応募作品を掲載した図録等の作成はありません。)
発表では、作品タイトル/応募者の学校名/学年/氏名を掲載します。

※応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に関係する各種情報提供の目的にのみ使用します。
また、受賞者の学校名、学年、氏名、作品のデータについては、報道機関に情報提供される場合があります。応募作品は本学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連冊子などで利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

送付先・お問合せ

秋田県立大学 本荘キャンパス 事務局 総務・企画チーム
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194
E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp
大学HP <https://www.akita-pu.ac.jp>
出題・審査：システム科学技術学部 建築環境システム学科

